

令和2年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
理科	4・大日本図書 理 科 たのしい理科	<p>○ 巻頭の「理科の学び方」に、問題解決の過程や学年で育成を目指す問題解決能力について明示し、見通しをもって問題解決に取り組めるよう配慮されている。また、問題解決の中では、「問題」と「結論」の整合性があるので、目的をもって観察・実験に取り組み、学習内容を理解しやすい。</p> <p>○ 問題解決の過程を『見つけよう』→『調べよう』→『伝えよう』と、大きく3つのまとまりに分け、問題解決の過程が色分け表示されるなど、わかりやすい構成である。さらに、学年ごとに設定された思考力、判断力、表現力等を主として育成する過程には★マークを付け、学習指導時に意識できるものとなっている。また、問題解決の過程を結果のまとめで区切らずに、それを人に分かりやすく伝える活動までを問題解決の過程としており、表現力の向上を意識したものとなっている。</p> <p>○ 様々な理科の見方ができるような発言例を提示し、理科の見方を制限しないような配慮をしている。理科の考え方を踏まえた観察・実験のタイトルをつけることで、考え方を意識して問題解決活動ができるように工夫している。</p> <p>○ 各単元において、学習問題に対する結論と説明を区別して明示し、児童が学習問題と正対した結論を元に基礎的・基本的な知識の定着が図れるよう配慮されている。</p> <p>○ 実験器具や理科室の使用が重ならないように各学年の単元構成が配慮されている。2学期制、3学期制のどちらにも対応できるように指導計画が作成されている。また、6学年の冒頭に生活と環境</p>

		<p>との関連を学ぶ小単元を配置しており、学習を身近に感じる工夫がされている。書き込み式のまとめ問題や重要語句のチェックができるようになっている。次年度に学習する内容についても写真に加え小単元の見出しも掲載し、学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○観察・実験器具の扱い方については、学習個所に掲載するとともに、巻末に「使い方を覚えよう」として、複数回使用する器具や下位学年で使用した器具についてすぐに振り返り、活用できるよう工夫されている。</p> <p>○理科と他教科との関連について、算数科や生活科、他教科で学ぶことについて、学習するページにマークとともに掲載し、関連付けて学習できるようになっている。</p> <p>○「理科と仕事マーク」「伝統」「英語」「防災」「ESD」などのマークを設け、理科とキャリア教育、伝統文化、国際理解、防災、持続可能な社会の関連を特に意識できるようになっている。</p> <p>○巻末には、各単元末に学習内容を児童がまとめたり確かめたりすることができる「たしかめよう」で活用できるシール（3年）や切り取り式の動物・植物シート（3年）、星座シート（4年）などがつけられており、授業での学習のみならず、自主的な学習の場でも活用できるものとなっている。</p> <p>○紙質は上質で、可能な限り軽量なものを使用し、各学年あたりの重さを400～500gとし、重量による児童の身体的な負担の軽減に努めている。</p>
--	--	---